



京都府立  
久美浜高等学校

# 学校だより

第7号

発行 令和2年12月

住所 京丹後市久美浜町橋爪65番地 電話 0772-82-0069



京都府立  
丹後緑風高等学校  
久美浜学舎



## 修学旅行に行ってきました。

2年生74名は、11月25日(水)から27日(金)までの2泊3日の日程で中部地方から伊勢方面へ修学旅行に行ってきました。この旅行の目的は、①日常の生活圏から離れた地域の文化・歴史や自然にふれて学び、見聞を広めること、②各班活動等での自主的で体験的な活動を通して、社会の一員としての自覚や責任感を養うことでした。

出発前の結団式では、コロナ禍の中での修学旅行を成功させるために、これまで実施に向けて尽力していただいた方々への感謝の気持ちを持つこと、感染症拡大防止に努めるとともに、集団での行動が規律あるものになるように決意を固めました。

### 1日目 (彦根城⇒白川郷⇒高山市泊)

1日目、彦根城の天守閣にのぼり、彦根市内を一望。白川郷では、難工事であった飛騨トンネルについて話を聞き、豪雪地帯の暮らしをイメージするなどよい学びとなりました。



### 2日目 (高山市内⇒ナガシマスパーランド⇒志摩市泊)



2日目午前、岐阜県高山市内で班別の自主研修を行いました。現存する唯一の郡代・代官所である高山陣屋などを訪れて歴史に触れ、午後は三重県にあるナガシマスパーランドでリフレッシュしました。



### 最終日 (伊勢神宮⇒おかげ横丁⇒松阪市⇒帰宅)

最終日は、各国の要人が訪問することもある名所・伊勢神宮と、おかげ横丁を見学しました。荘厳な伊勢神宮や、おかげ横丁の成立の歴史なども学び、家族や後輩たちへのお土産を買うなど最後の訪問地を楽しみ、帰路につきました。

道中、体調を崩す生徒もなく、天候にも恵まれた良い修学旅行でした。



### 修学旅行の感想(生徒)

- ・ 行ったことがない観光地ばかりで楽しかったし、貴重な体験ができた。友達と濃く楽しい時間を過ごすことができて良かった。修学旅行を通して学んだことを、これからの学校生活や日常生活でも活かしていきたい。
- ・ まず、修学旅行に無事に行けたことを、当たり前だと思わないことが大切だと思った。楽しただけで終わらせるのではなく、学んだことをしっかり普段の生活でも活かしていきたいです。



## 2年生分野別進路説明会

10月28日(水)、大学や専門学校より講師をお招きし、2年生の分野別進路説明会を実施しました。進学希望者は30分野からそれぞれの希望に沿った分野を選んで説明を聞き、就職希望者は総合説明を受けた後で入社試験対策についてお話を伺いました。進学、就職とも具体的な進路を考える機会となりました。これを受けて、3学期は進路調べ学習を行います。



希望進路の実現に向けて

## 1・2年生 冬季講習スタート!

冬季休業期間中の12月24日(木)、25日(金)、1月5日(火)、6日(水)の4日間で、国語、英語、数学の集中学習会を実施します。

1月16日(土)には、進研総合学力テストとベネッセ実力診断テストを実施し、実力を測ります。年末年始も気を引き締めて学習のリズムを維持しましょう。



## 進路を考える先進地視察

京都製菓製パン技術専門学校・京都調理師専門学校

京都先端科学大学バイオ環境学部

11月19日(木)、総合学科生産科学系列2年生5名とアグリサイエンス科1年生22名は、視察研修を行いました。最初に訪問した京都製菓製パン技術専門学校では、本格的な設備を使って製菓製造体験を行い、スフレショコラを作りました。その後訪問した京都先端科学大学では、久美浜高校の卒業生でもある大学生から、今取り組んでいる研究について紹介いただきました。高校在学中にやっておくべきことなどのアドバイスもいただきました。



## 劇作家・平田オリザ氏による演劇ワークショップ<sup>®</sup>2回目



11月20日(金)に、2回目の演劇ワークショップを実施しました。7月の1回目に引き続き、劇作家の平田オリザ氏をお招きし、御指導いただきました。

今回は6~7人のグループに分かれて、転校生が教室にやってくるシーンの台本を使い、グループ毎に発表しました。1回目はほぼ台本どおりに演じてみましたが、2回目は自分たちで設定を決めて、セリフを書き換えて創作したものを演じました。

台本を書き換える過程で、グループのメンバーとアイデアを共有して、より良いものに仕上げていく活動は、生徒一人ひとりが主体的に課題解決に向かう大切な体験になりました。